

# 現在分詞

## 英語の「現在分詞」ってなに？

英語には、「-ing」がつく言葉があります。たとえば「run(走る)」に「-ing」をつけると「running(走っている)」になります。これが「現在分詞(げんざいぶんし)」です。

### 現在分詞は、主に次の3つの場面で使われる

#### 1. 進行形を作るとき

進行形とは「～している」や「～していました」と、今していることやしていたことを表すときに使います。

例)

- ・ I am playing soccer. (私はサッカーをしています)
- ・ She was reading a book. (彼女は本を読んでいた)

#### 2. 形容詞として使うとき

形容詞とは「すごい！」や「ワクワクする！」と、物や人の様子を説明する言葉です。「現在分詞」も物や人の様子を伝えられます。

例)

- ・ It was an exciting game. (それはワクワクする試合でした。)
- ・ Look at that smiling baby! (あの笑っている赤ちゃんを見て！)

#### 3. 分詞構文として使うとき

「分詞構文(ぶんしこうぶん)」は2つの出来事が同時に起きていることを伝えるときに使います。

例)

- ・ Walking to school, I saw a cute cat. (学校に歩いて行く途中、かわいい猫を見ました。)

### 「-ing」のつけ方ルール

「-ing」のつけ方には3つのルールがあります。

#### (1) 基本のルール

動詞の語尾に「-ing」をつけます。

例)

- ・ play → playing
- ・ read → reading

## (2) 「e」で終わる動詞

「e」で終わる動詞には、「e」を取ってから「-ing」をつけます。

例)

- ・ make → making
- ・ write → writing

## (3) 短母音字+子音字で終わる動詞

短母音字+子音字で終わる動詞には、語尾の子音字もう一つ足してから「-ing」をつけます。

例)

- ・ run → running
- ・ sit → sitting
- ・ stop → stopping

※ 「短母音字」・・・短母音字とは「a:ア、i:イ、u:ウ、e:エ、o:オ」、長母音は「a:エイ、i:アイ、u:ユー、e:イー、o:オウ」

例) 「短母音字」hop(はねる)ホップでoは“オ”。  
「長母音字」hope(希望する)ホープでoは“オウ”。

## 短母音字+子音字で終わる動詞の例外

### 1. アクセントが最後の音節にない場合

動詞が2音節以上の場合、最後の音節にアクセント(強く発音するところ)がないときは語尾の子音を重ねません。

例)

- ・ happen → happening
- ・ visit → visiting

### 2. "w", "x", "y" で終わる動詞

語尾が「w」「x」「y」終わる単語は語尾を重ねません。

例)

- ・ fix → fixing

### 3. 英語の変則的な例外

一部の単語ではこのルールが適用されない場合がありますが、それは慣用的な使い方によるものです。

例)

- ・ bit → biting

ただ、「bit → biting」以外、中学英語で学ぶ動詞には該当する例外はほぼありませんので気にしなくて大丈夫です。

## 短母音字+子音字で終わる動詞の一覧表

No	英単語 (原形)	現在分詞	意味
1	cut	cutting	切る
2	dig	digging	掘る
3	fit	fitting	合う
4	hit	hitting	打つ
5	hop	hopping	跳ぶ
6	let	letting	～させる
7	nap	napping	仮眠を取る
8	pit	pitting	穴を掘る
9	pop	popping	ボンと鳴る
10	put	putting	置く
11	rid	ridding	取り除く
12	run	running	走る
13	set	setting	設定する
14	sit	sitting	座る
15	sum	summing	合計する
16	tap	tapping	軽く叩く
17	win	winning	勝つ
18	fix	fixing	修理する
19	bit	biting	少しかじる